

切手女子が選ぶ！
お気に入りの“かわいい切手” Part 2

[ばば ちえ] 2

カラー連載

思い出のマテリアル⑩

母にせがんで初参観した第1回スタンプショウ

豊田邦子さん(埼玉県) 1

封書10円時期の「記念・特殊切手」の楽しみ！⑩ [横山 裕三]

「目打の穿孔②／連続目打による変則目打」..... 8

押さえておきたい“日本切手の壺”⑦ [山口 充]

短命に終わった昭和毛紙10銭切手 16

カラートピック

東京2025デフリンピック開催に寄せて 切手でたどるデフリンピック [長谷川 則之／JPS聴覚障害者切手研究会] 10

注目の新刊

『都道府県別 日本切手カタログ vol.2 甲信越・東海』12

『日本凹版切手図鑑 心に残る至高の50枚』..... 14

連載

著名人の手紙 ①65 [新垣 千尋]

脚本家 山田太一 31

郵趣家の書斎 ～さまざまな切手収集の楽しみを訪ねて⑨ [佐伯 幸一]

百合野正博さん～新島 襄の軌跡を追って～ 32

切手女子流“切手の楽しみ方”②⑥ [ばば ちえ]

刺繍で作るマキシマムカード 34

JPS研究会発信！ここに注目！収集のポイント⑦

自動車切手収集のいろは [井上知治／自動車切手研究会] 36

軍事郵便収集の魅力② [玉木 淳一]

太平洋戦争〈3〉1941-45 38

今月のミニボックス⑩～みどころ紹介～

ヨハン・シュトラウスⅡ生誕200年記念 音楽切手展 39

風景印ピックアップ⑩

イオンモール内局の風景印 40

丸ごと！世界新切手ニュース(64 カ国840種を掲載)

編集部おススメ！話題の新切手から ①42 49

ワールドスタンブナウ ②44 [楳山 哲太郎]

切手で知る世界の最新情報 50

『ビジュアル版』(図版ページ) 52

『テキスト版』(解説ページ) 65

情報・コミュニケーション

11月のイベント・スケジュール 18

日本新切手ニュース：「第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025」令和8年用 年賀エコー・寄附金付絵入り年賀はがき 図案一覧 ほか 20

郵趣の目・国内情報：ゆうパック箱 リニューアル ほか 25

郵趣の目・海外情報：英ギボンスカタログで日本が1万種到達の最初の国に／報告・PHILAKOREA2025 ほか 29

切手の博物館ニュース：「魅惑のキノコ」展 ほか 27

BOOKS：「宮城県内郵便局の初期消印」「郵便史研究 第58号 郵便史研究会紀要」 41

読者のページ おたより喫茶室 42

協会事業のページ

「JAPEX記念出版物」案内 75

「全国ミニ切手展」案内／「郵趣MYコレクション展2026」出品募集 76

JPS新設委員会より「IT化推進委員会」活動報告 77

研究会一覧／研究会・支部定例会 78

開催録／次号予告 ほか 79

公益財団法人日本郵趣協会のご案内 80

巻頭言

60回を迎えるJAPEX

国内最大の郵趣イベントである全国切手展 JAPEXが、今回で60回を迎えます。60回を迎えるにあたりJAPEX委員会が力を入れたのは展示の充実、特に企画出品の充実です。初回JAPEXが目指した姿を見つめ直しながら、あるべき切手展を目指す、そんなJAPEXにしたいという意気込みが感じられます。

企画出品はふたつで、「日露戦争勝利120年」と「デンマーク切手展」になります。「日露戦争勝利120年」では、戦時下の郵便である軍事郵便の作品に加えて、当時の社会状況を理解できる絵はがき作品も展示される予定です。古くから切手展で展示されてきた切手作品に、近年注目されている絵はがきを加えることで、新たな切手展のあり方を目指しています。

JAPEXの企画というと、いわゆる「周年もの」が定番ですが、「デンマーク切手展」は趣が異なります。『郵趣』5月号「郵趣の目・海外情報」で伝えられたように、本年3月にデンマークは、郵便の配達を2025年末に終了し、小包に特化することを発表しました。この機に、デンマークの郵便の歴史を知り、その美しい切手を楽しもうというのがこの企画の意図です。クラシックから新しいものまで、多彩なデンマーク切手を楽しむことができます。

本稿を執筆している今現在でも、JAPEX委員会では新たな試みを検討しています。今年のJAPEXは、切手展のあるべき姿を問い直したものになります。みなさんと共に、3日間を楽しみたいと思います。

JPS理事長 山田 廉一



表紙の切手より

1920年の国立劇場設立を起点に始まったスロバキアの演劇史。その黎明期を彩った名優と劇場を凹版と平版で描く小型シートが発行されました(63・71頁)。1930～40年代に活躍した彼らは、当時唯一の演劇教育機関で学び、個性豊かな演技スタイルを確立。ユーモア、重厚さ、気品、情熱など多彩な表現で舞台を支え、演劇文化の礎を築きました。